

国労本部電送 No. 95	発信日 2024年12月10日	発信 企画部	責任者	受領者
------------------	--------------------	-----------	-----	-----

闘争指示第20号  
2024年12月10日

エリア本部  
各 闘争委員長 殿  
地方本部

国鉄労働組合  
中央闘争委員長 松川 聡

## 第12回国労フクシマ交流・視察学習会報告と活用について

本部は12月7日～8日、次世代を担う組合員とともに第12回国労フクシマ交流・視察学習会を実施した。

昨年に続いて本年も、JR採用組合員13名を中心に、当該地本である水戸・仙台地本の仲間とともに、総勢28名の参加で『いわき震災伝承みらい館』を訪れ、語り部の方による大津波被害の話に真剣に耳を傾けながら、『宝鏡寺伝言館』では事故から13年8ヵ月を経た福島第一原発事故の悔恨と教訓についてあらためて認識を深める現地視察を行った。

さらに2日目の現地集会では、関係地本である仙台・水戸地本組合員とともに東海第二原発運転差止訴訟原告団共同代表の大石光伸さんと古市三久福島県議会議員および国労議員団の狩野光昭いわき市議会議員から福島第一原発事故がもたらしたものの、被災者を取り巻く現状と課題、トリチウム放射能汚染水の海洋放出と廃炉作業における被ばく労働の問題点等についてそれぞれ講演をいただき、菊池忠志前国労本部委員長から事故当時の水戸地本の取り組みについて学びながら、あらためて「フクシマ」で起きた現実を風化させず、全国各地において原発再稼働に反対し、脱原発の取り組みを強化させていく決意を固め合った。

今後の取り組みに一助として今回の第12回国労フクシマ交流・視察学習会の報告・資料ならびに原発立地関係3エリア・4地本報告を別紙の通り送付するので活用されたい。

### 記

- 「第12回国労フクシマ交流・視察報告」（国鉄労働組合）
- 「各地における原発再稼働反対・脱原発の取り組み」（関係3エリア・4地本）
- 「福島第一原発事故の現状と課題」（古市三久福島県議会議員）および「いま私たちが生きている時代と努力しようと思うこと～ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ～」（大石光伸東海第二原発運転差止訴訟原告団共同代表）「東京電力福島第一原発の被ばく労働について」（狩野光昭いわき市議会議員）講演資料ならびに「国労フクシマ交流を振り返って」（菊池忠志前国労本部委員長）報告

以上